

(5) 2学期のL・Tで希望するテーマ

	テ ー マ	希望数		テ ー マ	希望数	
高 三	進路について	15	二	先生と生徒	6	
	人生について・人間について	12		時事問題	6	
	スポーツ	12		学園祭について	6	
	時事問題	11		クラブ活動について	5	
	レクリエーション	10		将来の希望	4	
	勉強について	8		金沢戦をふりかえって	4	
	生徒会のあり方	7		学校行事について	3	
	友情	7		高	レクリエーション	22
	先生と生徒	6			スポーツ	19
	学生の社会に果たす役割	6			高校生活のあり方	14
高校生活から得たもの	5	勉強の方法について	10			
受験と恋愛	4	人生について	7			
高	男女交際について・友情について	20	一	友情	6	
	レクリエーション	20		クラブと勉強の両立	5	
	進路について	15		先生と生徒	5	
	人生問題	9		友情	5	
	高校生のあり方	7		読書会	4	
	スポーツ	7		学校行事	3	
	学問について	7		散歩	3	
	読書会	6		映画を利用しての話し合い	3	
			規則の必要性	3		

第13報 指導者の育成をねらった室長会議

要旨

これは、活発な生徒の集団活動を求めて「室長会議」を組織的に運営しようとする試みである。生徒会とは別の中集団活動を通し、生徒個人の積極性、ひいては大集団の積極性を育てていこうと考え、その為の手はじめとして、指導者としての訓練をつんだ室長を育成することを目標に実践した報告をここに述べようと思う。

その指導は、生徒全体に対する場合も同様であるが、生徒の自主性を尊重するものであるべきであり、生徒と教師の間に十分な理解と信頼が必要であろう。換言すれば、「共感的理解」、生徒が率直に意見を出し、批判をした後、生徒が受容態度をつくること、簡単に言えば話しあえる場を持つこと、であり、これが、この会議を持つ第1の理由である。

I. はじめに

民主社会の一員として育てていく生徒の指導は、基本的に民主的でなければならない。そして、民主社会の基礎となる社会的態度、能力を養成する為には生徒の自主性が重んぜられるべきであろう。生徒の自主性・自発性を尊重して指導することが、生徒の活動を活発にし活動の火を燃やす指導者の精神を養成し、集団活動を起こす基となるのではなかろうか。

H・Rを中心とする生徒の諸活動の指導に於ては、その直接の責任者であり、執行者の代表である室長に、まず、適切な指導がなされることが必要と思われ

II. 室長会議

上述したような生徒指導に於ける望ましい形を指向し、さらに問題点解決の方法として、H・R室長会議を設けた。この会議の意図は、H・R活動に統一性を持たせ、学年の縦横の相互理解を深め、さらに、指導部の指導意図や、教官会議の意向を、生徒会関係以外のものについて、各H・Rに徹底させ、意志の疎通を深めようとするものである。又逆に、各H・Rの意見、反応等を生のまま教師が受け、先に述べた共感的理解を増して、生徒諸活動を盛り上げる融通性のある生徒の自主的活動である、このような意図が、この会議を持つ第2の理由である。

B. 発展的目標をもった生徒の管理・指導

この会議は急にでき上がったものではなく、昭和41年度までは、指導部等から、伝達事項など、必要に応じて、「室長集合」の号令のもとに召集されていたものである。従来、学校の意志伝達は生徒会執行部を通して主に行ってきたのであるが、結果的にみて、執行部は単なる伝達が行いがちであり、その事項の出でくる理由の伝達は生徒に徹底しないきらいがあった。その為、生徒会に対する一部生徒の消極性、反発等があったと思われる。このような生徒会に代るといふ方向でなく、生徒の底辺まで共感的理解を深め、それを通して生徒会を盛り上げていきたい。これがこの会議を持つ第3の理由である。

この会議の構成者は各H・R室長、副室長、及び指導部教官2名である。生徒もこの会議にはかなり積極的で、この会議に意義を感じている。その意義の第1に超学年で話がしあえることとし、次に各学級、各学年の結びつきができ、さらに、各H・Rや各自の自由な意見を述べる機会だとしている。このように、生徒が話しあえる場として理解していることは先に述べた第1の理由を満たすものである。この話しあいの中から室長が問題意識に目覚めていくことを我々も期待しているのである。

次に、議事の進め方について述べよう。

議長、副議長は生徒活動の中心たる二年生が輪番で受け持つが、生徒会に於けるような権限を持った正式なものではなく、話のまとめ役である、議案の提出は各H・R室長でも、指導部でもよいことになっており、必ずしも、あらかじめ議長に議案を言うておくようにはなっていない。尚、協議は懇談的な話し合いによって了解点を求め、採決による強行決定は行っていない。又、一回の協議で解決、了解点の得られなかった場合は必要に応じて、各H・Rで再検討されることもある。開会数は月に三回、昼食時に、弁当持参で開いている。

III. 活 動

次に今迄どの様な活動がなされてきたかを述べよう

(1) 今迄のL・Tの実施状況の資料をもとに、各H・RでつくられたL・Tの計画を持ち寄り互に検討し、又教師側からの助言を与え、各H・Rの持ち味のある均整のとれた計画とし、使用場所—運動場、体育館、プール、視聴覚室、音楽室等—の重合をさけて各学年・通学年のより調和のとれた有意義なものとする努力が各学期の初めになされた。

(2) 図書館横の掲示板に各H・Rの作品（壁新聞に類似したもの）を公表することが新図書館の完成と共に始まった。これは直接的にはH・R活動の延長

として行いたいという教師側の発案によって始まったのである。それ以前にも生徒側—特に執行部—から、自分達の意見を発表する黒板か掲示板が欲しいという強い要望があったため、新図書館完成に伴ってでき上がった掲示板を各H・Rに配分しようとしたのである。教師側からその主旨を室長会議で説明し、作品掲示を提案し、諒承され、一学期半ばから実施され、第一回は高三が「金沢」のテーマのもとに各H・Rで作品を作り、各々の特徴を出した。このテーマと内容は高三の室長会議の構成員によって話し合いがなされ、類似の作品にならないよう工夫がなされた、高三としての模範を下級生に示す作品であったと評された。このテーマが選ばれたのは対金沢大学付属高校交歓競技会を七月の末に控えていたからである。第二学期に入ると高二が「学校行事」のテーマのもとにアンケートを中心に発表し、十月には高一が「高校生活」をテーマにして、かなり独創的な発表を行なった。十一月中旬から、再び高三が発表する計画が当初決定されたが、他の行事が重ったり、受験準備等で高三から辞退の提案があり、協議の結果、了承された。十二月に入って高二が、定期テストを前にしながらも、作品を発表した。一月早々には高一の作品発表が予定され、既に活動に入ったクラスもある。

(3) 九月中旬に除草作業を各学年が各自の日を決めて自発的に行なったが、三年生の作業の際、既に作業を終えている一・二年のH・Rが三年生に同調して再度作業をすることが決められ実行された。その際は、H・R担任の協力も得ることができ、これを決めた室長会議構成員も相当満足感を得たようである。

IV. おわりに

既述の三つの理由の実現によって、教師—生徒会—生徒という集団同志の意志疎通のパイプに、もう一本のパイプを教師—生徒の間に通したいのであるが、実際には、思うように、生徒の底辺まで、意志の疎通ができない。加えたパイプによって、浮き上りやすい、生徒会の基礎を固めたいのであるが、まだまだ不十分である。今後は、地道な活動を通して、意志疎通の太いパイプに育て、生徒会とも連携を保っていくことが必要となっている。

(盛田・戸莉)

資料 (クラス掲示) 1

H・R活動の一つとして「クラス掲示」は、あなたが高校生活を豊かなものにする上で、有意義だと思えますか

あなたへの質問 「掲示」のよさ 作品発表に 参加しな 参加しな 参加したか	高 1							高 2							高 3							無回答	計
	A	B	C	D	E	F	G	A	B	C	D	E	F	G	A	B	C	D	E	F	G		
ア. 大いに意義がある	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	5	
イ. 意義がある	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	9	
ウ. 少しは意義がある	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	26	
エ. あまり意義がない	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	7	
オ. 殆んど意義がない	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
カ. 全く意義がない	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
無回答	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
計	1	5	25	10	4	3	48	1	5	25	10	4	3	48	1	5	25	10	4	3	48	48	

あなたへの質問 「掲示」のよさ 作品発表に 参加しな 参加しな 参加したか	高 1							高 2							高 3							無回答	計
	A	B	C	D	E	F	G	A	B	C	D	E	F	G	A	B	C	D	E	F	G		
ア. 大いに意義がある	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	
イ. 意義がある	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	17	
ウ. 少しは意義がある	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	17	
エ. あまり意義がない	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	17	
オ. 殆んど意義がない	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
カ. 全く意義がない	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
無回答	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	3	
計	1	3	14	6	10	7	40	1	3	14	6	10	7	40	1	3	14	6	10	7	40	40	

資料2 「クラス掲示」には、どんな意義があると思いますか。

項目	組					計
	1A	1C	2A	2C	3B	
準備する為に皆で考えあう	12	14	5	16	10	67
自分の気のつかない考えを知る	17	14	4	10	9	62
クラスの雰囲気をもとめる	5	12	4	14	13	59
クラスのいろいろな人と交流できる	5	8	1	12	12	57
物事を調査し考察する態度ができる	9	6	5	8	13	49
一つの問題を深く考える	8	7	4	10	10	44
各クラスの特徴などがわかる	9	14	6	3	5	42
共同作業ができる	5	7	4	11	10	42
自分の責任を知って活動できる	7	10	3	10	6	39
先生方に生徒、クラスの考えを知ってもらえる	7	15	2	7	2	36
高校生としての立場で内容を考える	6	9	4	4	6	35
高校生活と結びついた内容で興味を引く	3	10	2	4	6	27
学校行事の内容をよく知る	6	1	4	4	2	19
高校生活を勉強だけに費やさなくてもよい	4	1	2	4	4	16
好奇心を満足させる	2	2	2	1	5	14
今までのH・R活動が十分できない	4	0	0	3	2	13
学校の性格等がわかる	2	4	1	3	1	11
作品を作っている間に自分の価値を知る	2	3	0	2	1	9
人格形成の訓練になる	1	1	0	0	1	4
クラスとクラスが競争できる	1	0	0	1	1	4
その他(他人の価値を知る)	0	1	0	0	0	1

資料3 「クラス掲示」には、なぜ意義がないのですか。

項目	組					計
	1A	1C	2A	2C	3B	
あまり興味がなく、見ることか少ない	8	7	15	11	5	57
内容に興味が無い	6	7	14	6	7	46
テーマがありふれている	5	6	8	2	6	30
作品に共鳴したことがない	2	5	11	3	1	29
アンケートに責任をもって答えていない	6	7	5	4	5	29
深く考えたことがない	5	3	6	3	4	25
勉強、クラスでの時間がさかれる	3	0	9	5	2	24
掲示する数日前に作るから	3	4	7	6	1	23
多くの費用と時間がかかる	3	0	8	4	1	19
一部の人がつくる	7	3	3	1	2	17
自分の望む活動ができない	1	0	4	2	0	9
自分が作るのではない	2	0	1	0	0	4
作品を見ている時間がもったいない	0	0	1	0	1	4
その他(強制される、通ってもない、他の事で忙しい)	0	1	0	3	0	4

B. 発展的目標をもった生徒の管理・指導

資料4 あなたは各学年の作品をどの程度に見ましたか

程度	一年の作品について					二年の作品について					三年の作品について					総計					
	1A	1C	2A	2C	3B	3C	計	1A	1C	2A	2C	3B	3C	計							
1. 前を通っても、立ちどまっても見たことがない	1	1	10	6	8	6	32	4	4	2	5	6	6	27	4	2	5	7	2	3	23
2. 通りがかりに見出しくらいは見た	12	4	19	22	18	16	91	24	18	11	6	18	11	88	13	14	12	11	7	7	64
3. 大体目を通した	17	13	4	11	10	12	67	11	16	14	17	10	16	84	15	17	10	15	7	9	73
4. 興味のあるものについてはよく見た	10	15	4	9	4	4	46	8	10	9	11	4	3	45	15	13	9	12	10	9	68
5. 全体に興味深く見た	8	16	0	0	0	0	24	0	1	3	9	2	2	17	1	3	2	3	14	11	34
無 回 答	0	0	3	0	1	1	5	1	0	1	0	1	1	4	0	0	2	0	1	0	3